

## 偉大な発明 漢字かな混じり文

では、日本人はなぜ外国人に比べて読書能力が高いのでしょうか。

その理由は、当然、日本固有のものの中になければなりません。つまり、わが国固有の表現法“漢字かな混じり文”にある、と思われま。日本語は、表意文字(実は、表語文字と言うべきもの)である漢字で書き表わすのが良い言葉と、表音文字であるかなで書き表わすのが良い言葉とからできています。漢字かな混じり文は、そういう日本語のために発明された、世界に類のない表現法で、これが読書能力を非常に高めているのです。

あとで述べますが、漢字は、言葉を直接表わしていますので、一目でそれが何を意味しているかを知ることができます。ローマ字やかな文字は、表音という手段によって間接に言葉を表わすので、文字の目的である“表意性”の点では機能的にどうしても漢字に劣ります。

しかし、表意性に優れた漢字でも、漢文や現在の中国語のように、漢字ばかり並びますと、決して読みやすくありません。つまり、漢字ば

かりの文章でも、また、かなばかりの文章でも読みにくいのです。これにひきかえ、漢字とかなとが適当に混じり合った“漢字かな混じり文”は、双方の特長を生かして読書をしやすくしています。そして、それが日本人の読書能力を高めているのです。